

令和5年度 大宮学園

保幼小中一貫教育だより



クリスマスこの日ばかりはまだ子ども 令和5年 12月21日 No.1 大宮学園事務局

6年生の大宮中学校体験(第一小・南小・大宮中)



ソフトテニス



陸上



バスケットボール



卓球



ブラスバンド



ボランティア・パソコン

部活動体験 10/26 (木)

12月に実施する「小6児童アンケート」の回答の中には「中学校の授業を直接体験したいのはもちろんだが、中学生がどんな様子で授業をしているのか参観したい」という要望が例年挙がっていたため、今年度は部活体験に「授業見学」も組み入れました。

国語



社会



数学



理科



体験授業 11/21 (火)

1回目の体験授業は6/22(木)、実技教科(音楽・美術・技術・体育)の体験でした。今回は5教科(国語・社会・数学・理科・英語)の体験です。しっかり先生の話の聴いたり、自分で調べたり、友達と相談したり、考えたり、表現したりしました。

英語



全体会



【部活動体験の感想】(野球)部活体験を通してどこに入部するか決めることができました。みんな優しくエラーしても大丈夫と言ってくれてエラーしても大丈夫なんだと思いました。守備やバッティングなど楽しかったです。

(バレーボール)初めは緊張で体がガチガチになっていたけど先輩が優しく教えてくれてうれしかったです。女子バレー部の団結力もすごかったです。中学校の部活はバレー部に入りたいと思える楽しい時間でした。

(女子ソフトテニス)中学生のみんなが優しく持ち方や打ち方を教えてくれて色々勉強になったし、さらに勉強の様子では音楽をしているところが心に残りました。第一小学校にはない楽器があって大きかったし迫力がありませんでした。

(女子バスケットボール)部活体験をして、失敗しても「おいしい!!」とか「がんばったね!!」と励ましてくれたり、やり方も詳しく教えてくれて雰囲気がよくてわたしも中学生になったらこんなふうに絶対になりたい!と本当に思いました。これからの学校生活でも雰囲気を大切にしたいです!

(サッカー)僕はこの部活動体験で大宮中学校の色々な部活について知ることができ、体験した部活だけでなく見て回った時も中学生が一生懸命練習していてどの部活も楽しそうだと思いました。また、中学校への楽しみや期待が膨らみました。同じ部の先輩たちも全員知っている人だったけど優しく教えてくれたり一緒に楽しくすることができ、さらに部活が楽しみになりました。

【体験授業の感想】(国語)楽しかった。「けふ」を「きょう(今日)」と読む。不思議に思っていたことの仕組みがわかったので、すっきりして楽しかった。百人一首するのかと思ったけど、生い立ちや何番目集かなど考えていて楽しかったです。(社会)今日は、南小の子とペアになって学習できたので、とても良い交流ができたとおもうし、中学校の学びの仕方、話すペースなどがはやいことがわかったので中学校の勉強のイメージができました。

(数学)今回の授業はやっぱり小学校とだいぶ違うなと思いました。授業の流れが早かったし、難しかったです。でもグループで考えたり、発表したりしてしっかりと授業を進められたと思います。先生の授業はわかりやすかったです。

(理科)小学校で学習したことも途中出てきた所もあったので、覚えておいた方がいいんだなと思いました。また、酸性(塩酸)と、アルカリ性(水酸化ナトリウム)を合わせて中性を作るとき同じグループの人と協力してできたし無事に中性の水溶液ができたのでよかったです。それを蒸発させて顕微鏡を見た時にあった結晶がなんなのかわからずに終わったので、それを知りたいというのもあって、さらに中学校に入学するのが楽しみになりました！そして、授業も楽しかったし面白かったです!!

(英語)まず最初に土居先生が自己紹介をしてそれを真似てみんなが自己紹介をする形だったけど教え方が上手で簡単に理解できてとても楽しかったし、いつもの英語の授業と全然違いがないと思うくらいに教え方が上手でとてもスムーズに進んでいた。他の人と自己紹介をする際に第一小の人と南小の人の2つのグループと自己紹介ができた。英語の授業が楽しくて中学生になるのが楽しみになった。

「情報モラル講演会」(南小・第一小・大中・保護者)

11月30日(木)、日中は「情報モラル講演会」を各小中学校で、夜は「保護者のための情報モラル講座」をアグリセンター大宮で開催しました。スマホやSNS、ゲーム等のトラブルに児童生徒や保護者の皆さんが巻き込まれないようにと取り組み始めたこの講演会も6年目を迎えました。



(南小) 良いアプリでも悪用されたり、元から危険なアプリだったり、それを一度してしまったら知らない人や悪い人に自分の情報が伝わったりして、おそわれたりストーカーされたりするから、しっかりルールを守ったり説明書を読んで自分の身を守りたいと思いました。昨年も聞いたけど、改めてネットの使い方には気を付けようと思いました。

(第一小) オンラインゲームやインターネットの間違った使い方をするだけで犯罪に巻き込まれたり、親がお金を払わなければならないことになると知って、これからのインターネットやオンラインゲームの使い方を改めて見直そうと思いました。さらに13歳以上の「Roblox」を親の許可を得て、やっていて、篠原先生もそんな危なくはないと言っていたけど、たまにそのゲームの中にも悪口などを書いている人がいたので、やっぱりこういう人と繋がり合うゲームは危険なこともあると思いました。

(大宮中) 私は自分のスマホを持っていて、とても便利でよいものだと思っています。でも反対に言えば小さい頃よりも自分の周りには危険なものが増えているのだと実感しました。でも、スマホ、インターネットはもともと危険なものとして作られたのではなく、危険なものに自分たち「人間」が変えてしまっているのだと改めてわかりました。スマホ、インターネットは便利なものにも危険なものにも変わりやすいものだと思います。お話でもあったように、同年代の子たちが犯罪をおかしてしまったり、巻き込まれてしまっていることが改めて怖いと感じました。スマホ、インターネットを使っていく上で、自分の欲に負けてしまうと犯罪に近づいてしまいます。自分では気づきにくいこともあると思うけれど、自分のことはしっかり管理できるようになりたいと思いました。

(大宮こども園保護者) インターネットやアプリなど、自分たちの暮らしの中で当たり前になっていることの中にこそ身の危険があることを改めて感じた。特に、大人になりある程度の危険予知ができていて感じている自分たちでさえ知らない間に犯罪に加担している可能性があるかもしれないのに、安全性よりもそのときの楽しさを優先してしまう可能性のある子どもたちに対して、どれだけ自分たちがリスクマネジメントしていくことができるかどうかという点を考えさせられる内容であった。ICTの活用によって便利になった点もあるが、簡単に個人情報が流出し自分たちの分からないところで悪用されているかもしれないという恐ろしさを感じた。